

2月4日 No.2348

-----2008年(平成20年)-----

週刊 月曜発行

発行人 小田 太一

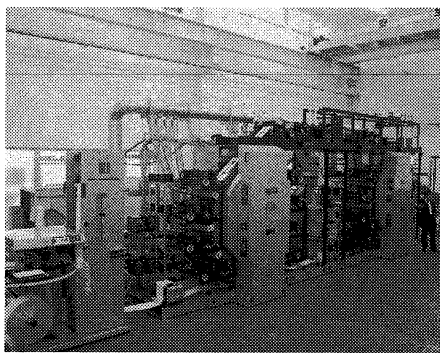
昭和41年9月22日 第3種郵便物認可

購読料 年間 25,000円 (前納)

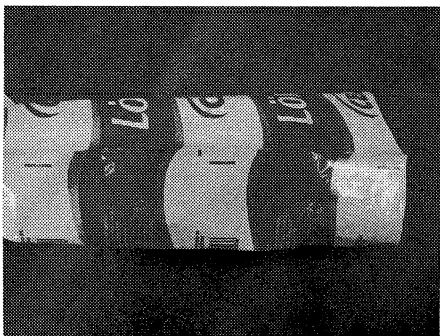
1部 530円

包装タイムズ

THE HOSO TIMES



ポーランドへ輸出



裏表360度印刷実現

KPG

ツインドラム18色機開発

ナイロンチューブに全周印刷

ナローウェブ印刷機で定評のあるKPG(東京都台東区、☎03・3834・2560)は、このほど、CI型フレキシオン16色機に、ニスやコールドスタンプ用粘着剤などがコーティングできるフレキシオンユニット2色を装着した軟包装用UVフレキシオン18色機を開発した。新開発の軟包装用UVフレキシオン18色機は、ツインドラム方式で1800mm径・幅200mmのドラムに8色を装備し、表面8色12色、裏面8色12色をワンパスで施すことができる。

とができる。これによりミートケージング用のフィルムチューブでは、全面360度に対して印刷することが可能。UVフレキシオンのカチオンインキ仕様により、素材がナイロンフィルムでも、インキが基材に密着する。冷却と加温装置を組み込んだ恒温ドラム方式により、ドラムも印刷ユニットも一定の温度で管理できることから、高速運転と安定した印刷が可能にした。ドラムそのものも素材も、インキが付着しない合金素材(ハステロイ)を使用。ギアレス(サーボモーター)方式の印刷機でも実

績がある同社だが、今回の18色機では、ギア(機械)式を採用することで、簡単かつ短時間で見当合わせができる。印刷機の精度にも大きな影響を与える架台やフレームにも、振動や騒音を吸収する堅牢かつ高品位の鋳物を使用している。

アニロックスロールも恒温管理され、安定したインキングを実現。構造も従来のエア式ではなく、同社独自の設計を施した金属式スリーブ構造により、低コスト・短納期1カ月以内)での製作も可能にした。しかも、簡単に脱着できるのも特長。ドクターブレードも特長で、キスタッチでインキをかきとる。また、アキユムレート式(ブローサーとオートリワインダーを標準装備し、高速・連続運転を実現している。同社では印刷幅250mm以外に、400mm、650mmでの提案ができるとしており、ナローウェブでありながら真空包装用ナイロン製チューブフィルムの全面360度に対して印刷ができることから、国内外から注目を集めており、18色機についていえば、2月中旬にもポーランドの印刷会社へ納入する。